

第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に係る住民懇談会 「地域とつながるしもつけミーティング」実施概要(案)

1. 住民懇談会の実施目的

第4期下野市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定にあたり、市民や地域活動団体等から地域課題や地域資源、今後必要となる取組についての意見を把握することを目的として、懇談会を実施する。懇談会で得られた意見は、地域課題や地域資源の整理、重点施策候補の抽出に反映する。

また、住民同士のつながりを強化し、地域づくりへの参加意識を高める機会とする。

2. 実施概要

No.	項 目	内 容
1	参加者	自治会長、民生委員児童委員、福祉関係団体、地域包括支援センター、ボランティア団体、サービス事業所(介護・障がい)、企業・法人、学校、子育て関係機関など (別紙参照)
2	開催数	3 地区(南河内・石橋・国分寺) 各 1 回
3	日 時・会 場	南河内地区 : 8 月 22 日(土)13 時 30 分から 15 時 30 分 会場 南河内公民館 石橋地区 : 8 月 30 日(日)13 時 30 分から 15 時 30 分 会場 石橋公民館 国分寺地区 : 9 月 5 日(土)13 時 30 分から 15 時 30 分 会場 保健福祉センターゆうゆう館
4	人 数	各回35名程度 (1 グループ 5 名 計 7 グループ作成想定)
5	時 間	120 分
6	形 式	グループワーク方式 (事前ワーク有) ・テーマに関する意見をグループ内で共有 ・付箋や模造紙で意見をまとめる ・グループ発表
7	記 録	模造紙・付箋・ワークシート・録音・写真
8	成 果	地域課題、地域資源、重点施策候補の抽出

裏面あり

3. テーマについて

(1)地域の課題

生活上の困りごと、活動の中での課題、不足している資源、困りごとが見えにくい層の状況などを共有する。

(2)地域の良いところ・活かせる資源

地域の魅力、強み、すでに行われている取り組み、地域資源を確認し、課題解決に活かせる視点を探る。

(3)より良い地域に向けた取り組み

(1)(2)を踏まえ、今後必要な取り組みや、住民・団体ができることを話し合い、実行可能な「次の一步」を整理する。「すぐできること」と「時間をかけて取り組むこと(5年間を目安に)」を分けて整理する。

(1)「地域の課題」と(2)「地域の良いところ・活かせる資源」については、事前にワークシートを記入していただき、当日は各グループ内で内容を共有する。グループで出された意見は、現行計画の3つの基本目標 ①地域福祉を担う人づくり ②支え合いの輪が広がる地域づくり ③地域共生社会を実現する仕組みづくり のいずれに関係するかを整理しながらまとめていく。

そのうえで、現行計画の目標と地域の現状を照らし合わせ、(3)「より良い地域に向けた取り組み」において今後必要な取り組みや、実現したい地域の姿について話し合う。

4. 計画策定に向けて

懇談会において挙げられた意見は整理、分析し、計画へどのように反映させていくか検討していく。

(1)意見の整理・分類

出された意見をテーマごとに整理し、課題やニーズを明確にする。

(2)課題の優先度の検討

住民の困りごとの内容や実現可能性などを踏まえ、計画に盛り込む施策の優先順位を検討する。

(3)具体的な施策案への反映

「何に」「誰と(誰が)」「どのように」取り組むかを明確にし、懇談会での意見を施策として具体化していく。

第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に係る住民懇談会 参加者（案）

	各地区での選出団体	人数	備考
1	自治会長連絡協議会	2	
2	民生委員児童委員協議会	2	
3	老人クラブ連合会	2	
4	地域ふれあいサロン	2	
5	心身障害児者父母の会	2	
6	障がい当事者（身体障害者福祉会他より）	2	
7	有償ボランティア団体	1	
8	ボランティア活動団体・ボランティアセンター登録者	4	
9	地域こども食堂	2	
10	学生	4	
11	地域包括支援センター	1	
12	介護サービス事業所	2	
13	障がい福祉サービス事業所	2	
14	第2層生活支援コーディネーター	2	
15	子育て支援センター	1	
16	保育園・認定こども園	1	
17	小・中学校・義務教育学校	1	
18	企業法人・NPO	2	

1地区あたり

35 名程度